

○ 草木染の布でブローチ作り

東北地方に受け継がれてきた「こぎん刺し」でオリジナルのブローチを作りましょう。

1. 日時：2023. 6. 24 (土) 9：30～12：00 天気 曇り
2. リーダー：U、M
3. 参加者数：大人 5名 対象者：小学校4年生以上
4. ねらい：こぎん刺しの歴史や草木染の良さ（人間の体や自然に優しい）を知ってもらう。
5. 活動場所：多目的ルーム
6. 活動内容：草木染の布を使い、こぎん刺しでオリジナルのブローチを作る。

時間・場所	内 容
9：30 多目的ルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介（ききみみメンバー・参加者） ・内容を伝える：こぎん刺しの歴史や草木染の良さ、作り方。 <p>【こぎん刺しの歴史】</p> <p>青森県津軽地方に伝わる伝統的な刺子の一つ。江戸時代、農民は高価な色染めの着物などを禁じられた。津軽は綿の栽培に適さず、藩では麻を奨励した。人々は藍染めの生地に白糸で独特の模様を刺すようになった。しかし麻は目が粗く、津軽の寒い冬を乗り切るため、温かい空気が少しでも服にこもるように刺子を施した。</p> <p>【草木染めの良さ】</p> <p>身近な植物で手軽にできる。人間の体や環境にも優しい！</p> <p>【作り方】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①布のまわりをほつれないようにまつる。 ②ブローチの形を鉛筆で書く。 ③布の外側から5mm位内側をなみ縫いする。 ④中心を決める。 ⑤糸（刺子糸1本又は2.5番糸6本）を針に通して中心より刺す。刺し始めは糸を10cm位残しておき、1～2段刺してから裏で刺し始めの糸をかがる。出来上がりの円より5mm外側まで刺す。 ⑥③でなみ縫いした糸を引き締めて、ブローチを包む。 ⑦ピンの取り付けは別紙参照。 <p>☆出来上がったものを見せ合い、感想を言ってもらおう。</p>
12：00	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート依頼、解散 <p>*展示したもの</p> <p>本 「こぎん刺しの本・津軽の民芸刺繍」文化出版局 「こぎん刺し・ちょっと素敵なインテリア」マコー社 他 作品 10点 身近な材料で染めた毛糸（植物、キノコ、地衣類他）</p>